

令和3年度事業報告書

1.法人の概要

名称 学校法人 向陽学園
住所 長崎県大村市西三城町16番地
電話 0957-52-3210
FAX 0957-54-3280
ホームページ <http://www.koyogakuen.ed.jp>

(1) 建学の精神

向陽学園の建学の精神は、「奉仕」です。これは、社会において自己が支えられていることを深く認識し、支えられている自分が他を支えることであり、そのために自己を支える力を大きくし、より良く生きるという「活私」を意味します。

向陽学園は、大正13年より、その教育において一貫してこの「奉仕」の精神を貫き、その言葉に魂を宿してきております。さまざまな外的環境が大きく変化をとげてゆく状況の中であって、向陽学園は、その使命と責任を果たすように、建学の精神に立脚した教育活動と経営をこれからも進めてまいります。

(2) 学校の沿革

大正13年1月	私立大村裁縫女学校 として設立
大正14年5月	大村女子職業学校 として改称
大正15年9月	高等師範科 設置
昭和2年4月	実業補習学校教員養成科 併設置
昭和12年1月	実業補習学科教員養成科を法令の改正により青年学校教員養成科と改称
昭和18年4月	法令改正により実業学校となり、師範科を専攻科と改称し、青年学校教員養成科及び高等師範科を廃止
昭和21年10月	財団法人 大村女子職業学校を設立
昭和22年4月	学制改革による新制中学部である中学部を認可される
昭和23年4月	新制高等学校の設置を認可され、大村女子職業高等学校（家庭課程・被服課程）と改称す
昭和23年10月	大村女子職業学校中学部を向陽中学校に、大村女子職業高等学校を向陽高等学校にそれぞれ名称変更し認可される
昭和25年3月	高等学校に専攻科及び商業別科の附設と向陽幼稚園の設立を認可される
昭和26年3月	法令により設置者を学校法人向陽学園と変更認可される

昭和33年3月	向陽中学校を廃止
昭和35年9月	高等学校の家庭課程・被服課程を被服科と改称する
昭和37年4月	高等学校の商業別科を廃止し、新たに商業科3年コースを設置
昭和42年4月	高等学校に衛生看護科を設置（准看護婦学校の指定を受ける）
昭和44年4月	高等学校に保育科を設置
昭和45年3月	衛生看護専攻科、保育科校舎を新築落成
昭和52年4月	高等学校に普通科を設置
昭和54年4月	高等学校に衛生看護専攻科を設置
昭和56年4月	九州で2番目となる専修学校 長崎リハビリテーション学院を 設立 理学療法学科を設置
昭和57年9月	幼稚園新校舎落成
昭和62年1月	高等学校校舎増築
昭和63年4月	高等学校にコンピュータ・ビジネス科を設置
平成2年4月	高等学校に国際科を設置
平成3年4月	長崎リハビリテーション学院に九州初となる言語療法学科を設置
平成4年4月	高等学校の被服科を服飾デザイン科と改称 普通科（特進課程） 設置
平成4年9月	高等学校に普通科（特進課程、通称：橘香館）の新校舎を落成
平成5年4月	高等学校国際科が男女共学となる
平成6年12月	高等学校4校舎改築落成
平成9年4月	高等学校普通科（特進課程）が男女共学となる
平成13年4月	高等学校国際科の男子募集を停止
平成14年4月	高等学校保育科に保育コースと福祉コースの設置
平成15年4月	高等学校に調理科（男女共学）、デザイン科（美容コース、ファッ ション・デザインコース）を設置 普通科に（e・cコース）を設 置 普通科（特進課程）を（特進コース）に改編 服飾デザイン科 はデザイン科ファッション・デザインコースに改編 国際科、商業 科、コンピュータ・ビジネス科の募集停止 また二学期制とする
平成16年4月	高等学校デザイン科にエステコースを設置 長崎リハビリテーシ ョン学院に県内初の理学療法学科2部（夜間部）を設置
平成16年8月	衛生看護専攻科 新校舎落成とともに移転 向陽学園本部 衛生 看護専攻科新校舎の5階に移転
平成17年4月	高等学校普通科（e・cコース）を普通科（情報&メディアデザイ ンコース）に改編 デザイン科エステコースはデザイン科エステ ティックコースに改編 デザイン科ファッションコースの募集停 止 コシノヒロコのデザインによる新制服着用開始

平成18年4月	長崎リハビリテーション学院 作業療法学科の新設に伴い新校舎が落成 高等学校に普通科(特進コース・橘香館)の新校舎が落成
平成20年4月	高等学校普通科情報&メディアデザインコースの募集を停止し、普通科パティシエコースを設置
平成20年11月	向陽学園が運営する(C.L.フォンス)が完成 図書館とカフェテリアが併設 向陽学園の学生や卒業生たちが学習、交流、憩いの為に利用する施設
平成21年4月	美容専門学校トータルビューティーカレッジ「ベルファム」(昼間課程・通信課程)の新設に伴い 新校舎が落成 衛生看護専攻科を看護専攻科と改称し、5年一貫教育とする
平成22年4月	高等学校デザイン科美容コースは美容科(男女共学)、デザイン科エステティックコースはエステティック科、保育科保育コースは保育科、保育科福祉コースは福祉科(男女共学)、普通科パティシエコースはパティシエ科(男女共学)と改編 普通科(特進コース・橘香館)の募集を停止
平成23年4月	幼稚園保育室増設 園庭に人工芝を設置
平成23年8月	向陽学園が学校法人として設立60周年を迎える(向陽学園創立87周年) 記念イベント「ベルファム トータルビューティコレクション」や記念パーティー「感謝の夕べ」を実施
平成25年3月	高等学校の普通科、デザイン科を廃止
平成26年9月	美容専門学校ベルファム校舎を旧橘香館校舎に移転し、長崎リハビリテーション学院の言語療法学科を旧ベルファム校舎に移転
平成29年4月	高等学校エステティック科にエステティックコース・ブライダルコースを設置
平成30年4月	高等学校の保育科・看護科 男女共学となる(エステティック科のみ女子)
令和 2年3月	美容専門学校トータルビューティーカレッジ「ベルファム」が閉校

(3) 役員・評議員の概要

令和4年3月末現在

理事	6名
監事	2名
評議員	12名

(4) 組織概要

学校法人向陽学園	向陽高等学校
長崎県大村市西三城町16番地	長崎県大村市西三城町16番地
	向陽幼稚園
	長崎県大村市西三城町16番地
	長崎リハビリテーション学院
	長崎県大村市赤佐古町42番地

(5) 学校の概要

令和4年5月1日現在

長崎リハビリテーション学院

学科名	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
理学療法学科1部	3	40	120	113	昼間部
理学療法学科2部	3	40	120	51	単位制夜間部
言語療法学科	3	40	120	58	
作業療法学科	3	40	120	86	
総計		160	480	308	

(6) 教職員の概要

長崎リハビリテーション学院

教員	本務者	24名
	兼務者	26名
職員	本務者	6名
	兼務者	3名

2 事業の概要

(主要活動報告)

月	長崎リハビリテーション学院
令和3年4月	入学式、臨床実習指導者会議 (WEB)
令和3年5月	学内臨床実習5月～、オープンキャンパス (WEB)
令和3年6月	球技大会・オープンキャンパス・学校説明会 (WEB)
令和3年7月	オープンキャンパス、選抜 (エントリー-選考) 就職説明会
令和3年8月	オープンキャンパス、選抜 (エントリー-選考)
令和3年9月	入試、臨床・保育実習、オープンキャンパス (WEB)
令和3年10月	入試、施設見学実習、学院祭中止、OC
令和3年11月	入試、介護実習、オープンキャンパス
令和3年12月	入試、オープンキャンパス、臨床・PT技術実習
令和4年1月	長リハ交流会、臨床実習1～2月
令和4年2月	入試、国家試験
令和4年3月	入試、卒業式、長リハ交流会

(当年度の事業目的及び目標等)

(長崎リハビリテーション学院)

令和3年度は、高等教育の就学支援制度の周知がすすみました。数十名の学生が利用し学費減免を行いました。コロナ困難者向け学院独自の支援制度も行いました。また、新型コロナウイルス感染拡大によりオープンキャンパスのWEB開催や入学式・卒業式等各種行事の規模縮小実施等を行いました。そして図書館1階に第二購買部を設置し、カフェスペースもリニューアルしました。リモート授業の活用も本格化しました。一部エアコンの更新も実施しました。令和3年度の3つの重点目標及び結果は下記の通りです。

- 教育力の強化
 - 学生の自己学習能力の強化⇒順調に進行 (2) 教員個々の教授力強化⇒良好に推移
 - 学院経営に対する参画強化
 - (学生募集) 入学者110名以上の確保⇒未達 改善努力中 (2) (国家試験合格率) 全学科95%以上⇒PT88.9、OT85.7、ST84.6 良好
 - (就職率) 希望就職率100%⇒達成 順調
 - 就労環境の改善・向上⇒良好に推移
 - 健全かつ生産性のある就労環境づくり⇒順調に進行
以上の目標達成の為、具体的な取り組みを作成し実施しました。
- さらに、詳細な評価項目別取り組み状況を作成し、次年度の学校関係者評価委員会等で確認を行います。
令和4年度も、医療の現場に必要とされるリハビリテーションのプロを目指し、学生に対して入学から卒業認定まで一貫した教育を行います。
ディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針) 教養、知識・技術、対応力、人間性、自己研鑽
カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施の方針) 教養、知識、キャリア教育、協調性、学習姿勢
また、新型コロナウイルス感染防止につとめ、PCR検査等も随時実施し臨床実習の実施をします。ICT無線環境整備も行います。

3 財務の概要

本学園の令和3年度の財務概要については、学校法人会計基準に従い作成いたしました。

事業活動収支計算書及び貸借対照表は下記の通りです。

(1) 事業活動収支計算書

単位 千円

科目	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
教育活動収入計	1,516,512	1,397,044	1,393,381	1,411,953	1,491,683
教育活動支出計	1,510,018	1,434,963	1,449,499	1,503,561	1,615,160
教育活動収支差額	6,494	△ 37,919	△ 56,118	△ 91,608	△ 123,477
教育活動外収入計	2,947	1,904	2,152	1,655	1,539
教育活動外支出計	1,164	1,244	1,138	1,173	1,182
教育活動外収支差額	1,783	660	1,014	481	357
経常収支差額	8,277	△ 37,259	△ 55,104	△ 91,127	△ 123,120
特別収入計	3,170	14,809	6,355	572	1,313
特別支出計	0	0	2,103	18,539	0
特別収支差額	3,170	14,809	4,252	△ 17,967	1,313
基本金繰入前当年度収支	11,447	△ 22,450	△ 50,852	△ 109,094	△ 121,807
基本金繰入額合計	△ 58,235	△ 6,310	△ 28,034	△ 2,348	△ 11,574
当年度収支差額	△ 46,788	△ 28,760	△ 78,886	△ 111,442	△ 133,380
翌年度繰越収支差額	△ 2,583,327	△ 2,540,259	△ 2,566,659	△ 2,497,355	△ 2,439,313

(2) 貸借対照表

単位 千円

科目	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
固定資産	1,929,014	1,947,216	1,950,600	2,022,001	2,169,825
流動資産	648,472	623,809	592,377	560,438	592,226
資産の部合計	2,577,486	2,571,025	2,542,977	2,582,440	2,762,051
固定負債	126,094	137,682	98,897	106,448	124,647
流動負債	289,231	285,564	273,851	254,910	307,229
負債の部合計	415,325	423,246	372,748	361,359	431,876
純資産の部合計	2,162,161	2,147,779	2,170,229	2,221,081	2,330,175
負債及び純資産の部合計	2,577,486	2,571,025	2,542,977	2,582,440	2,762,051

以上